

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (29年2月号)

平成29年2月1日

暦の上では大寒が過ぎたばかりですが、風が弱くて暖かい日も結構あり、観光客から「さすが南国土佐」という声も聞かれます。

さて、寒い日は外へ出て体を動かすのが一番。2月の活動日のお知らせです。

2月19日(日) 午前9時～11時

南口電停横「みんなの庭」の草引きを行います。できたら、北口駐輪場周りも手入れしたいと思います。

午後2時～3時 帯屋町筋中央公園前でますますお元気な葛岡さんのギターと歌声に乗っていつものチラシ配りを行います。

3月の月例活動日は19日(日)、4月は9日(日)を予定しています。

1月のトピックス

○1月15日(日)

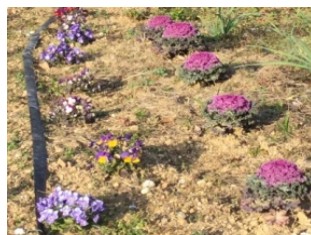
午前:「みんなの庭」を手入れ。北口駐輪場まわりの枯れ草も少々ですが片づけました。

午後:葛岡さんのギター弾き語りは絶好調で、帯屋町を通る人々の視線を引きつけました。立ち止まる方、側に寄ってくる方などさまざまです。お渡ししたチラシを見て「大賛成」とばかり応援の声を掛けてくださる方もあり、続ける元気が出てまいります。

○1月12日(木)

市役所のみどり関係窓口を廻って「お知らせ1月号」を配り、新年のご挨拶をいたしました。駅前での新たな植樹や、はりまや橋に至る電車通りでの花植えなどの予算を計上するアイデアもあるそうで、実現すると嬉しいですね。

○真冬の「みんなの庭」に彩りを添えてくれる植物があります。右の写真は有志が植ええてくださったハナキャベツと11月に植えたピオラ。もうひとつの写真はこれもお寄付頂いたオタフクナンテンとスイセンです。



駅前緑化活動は篤志家のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先: 〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話: 090-8849-3651 E-mail: m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話: 090-7016-3743 E-mail: kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行: 四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える

(7) 狭い場所に建設計画が目白押し

—このままでよいのか高知市の桂浜公園整備案

私どものホームページに「高知の観光名所」(桂浜)というスペース(*)を新設した機会に、高知市ホームページに公表されている「桂浜公園整備基本構想」をじっくり読んでみました。その感想は、「いったん白紙に戻して出直すのがベストでは？」というものです。(* <https://mori-kochi-eki.jimdo.com/高知の観光名所/>)

理由をいくつか挙げてみます。

○狭い場所にあらゆる整備計画をてんこ盛り

大小の駐車場、土産物売店、飲食店、宿泊休憩施設、催し物賑わい施設、複数の展望台、遊歩道と案内板、エレベーターやエスカレーター、遊覧船発着係留施設、親水テラスなどの整備・新設、龍馬記念館増設、樹木の剪定と伐採などなど、方々から出たアイデアを全部取り込んだような感じです。これではまるで**博覧会場**です。

基本構想の「理念」としてうたう自然景観の保全とどう折り合いをつけるのでしょうか？ この整備案には「**景観評価**」が完全に欠落しています。

○今ある施設をまず全部取り去ることから始めよう。

駐車場は桂浜公園内に無ければいけませんか？ 水族館は浦戸湾岸に移設して日本一の「こども水族・水遊館」に衣替えすれば、遠足や家族連れで賑わうでしょう。龍馬記念館も桂浜公園を離れたらずっと立派なものができるでしょう。土産物屋や飲食店、宿泊施設、賑わい施設、展望台、船の発着場なども同様です。

移設先候補は近隣地区の遊休地・空き家などです。龍馬像など「**絶対桂浜に置かなければならないもの**」だけの整備に絞り込むことで、白砂青松の広大な自然、月の名所とうたわれた景勝地が復活し、周辺地区の潜在価値掘り起こし(活性化)にもつながるのではないのでしょうか？

○種崎、長浜、御畳瀬、浦戸湾を外して「歴史」を語れますか？

もうひとつの基本理念は「歴史」ですが、これを桂浜公園という狭い地域だけで表現するのは無理があり、かつ勿体ない話です。かつての漁師町長浜・御畳瀬、交易と水軍の里かつ龍馬ゆかりの種崎・浦戸湾などは貴重な文化遺産です。過去千年にわたる人々の営みと歴史ロマンに事欠かない**周辺地域**を含めた歴史公園化を目指して、龍馬を生んだ土佐らしい壮大なデザインを描いたほうがよいのではないのでしょうか？

○住民、都市景観専門家、行政で徹底的に議論を重ねよう

長年にわたってみんなに愛され親しまれてきた桂浜です。**無理な急ぎばたらきはよして**、各地のプロジェクト事例に学び、近年発達が著しい景観デザイン、都市デザインの専門家の知見も取り入れ、お互いに議論を戦わせてベストな計画を作り上げたいものです。